

事業計画及び成長可能性に関する事項

再生医療をあたりまえの医療に

Creating a Future for Regenerative Medicine

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング（東証グロース：7774）

2026年5月1日



当社製品の用語解説

再生医療製品事業

患者自身の細胞を採取・培養した製品を保険適用下で提供



ネピック／オキュラル

自家培養角膜上皮／自家培養口腔粘膜上皮

■ LSCD（角膜上皮幹細胞疲弊症）



ジェイス

自家培養表皮

■重症熱傷 ■先天性巨大色素性母斑 ■表皮水疱症



ジャスミン

メラノサイト含有自家培養表皮

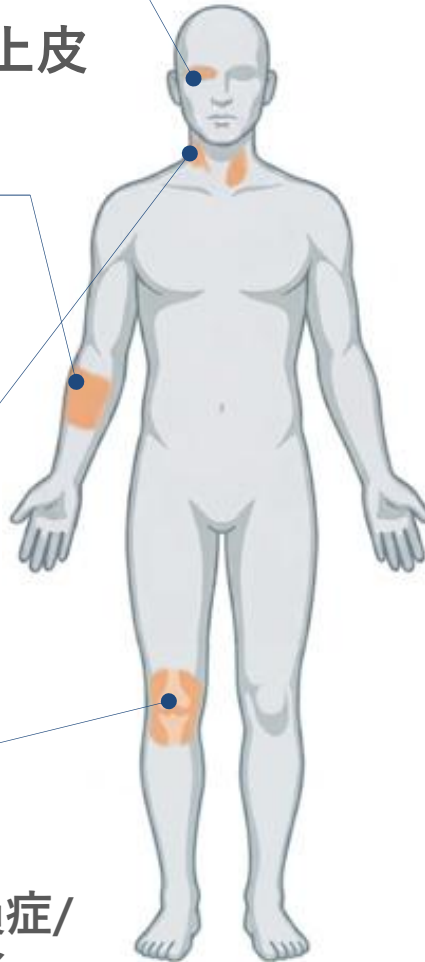
■白斑



ジャック

自家培養軟骨

■ OA（変形性膝関節症） ■ 外傷性軟骨欠損症/離断性骨軟骨炎



ラボサイト事業

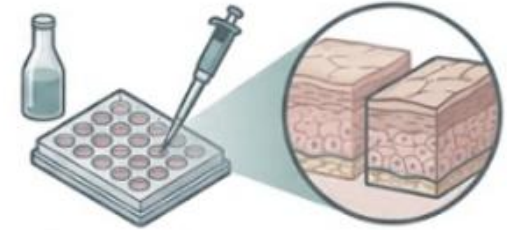
動物実験の代替として、ヒトの細胞で化粧品や薬などの安全性を確認するキットの販売



ラボサイト LabCyte

研究用ヒト培養組織

■表皮モデル ■角膜上皮モデル



エピセンサ EpiSensA

当社製品を使用する国際的なガイドラインに準拠した皮膚感作性試験法

■物質が皮膚アレルギーを引き起こす可能性を評価する試験



1. 当社概要

P 4



2. 事業内容とビジネスモデル

P10



3. 市場環境と競争優位性

P17



4. 成長戦略

P23



1. 当社概要

再生医療をあたりまえの医療に

一人でも多くの方が、その恩恵を享受できる未来を目指して。
当社はこれからも進化し続けます。

当社の使命

再生医療製品事業



救命からQOL（生活の質）向上まで。
自家細胞による根本治療を、あらゆる
患者さんの『あたりまえの選択肢』へ。

再生医療受託事業



長年の知見を産業のプラットフォームへ。
開発から製造までを一気通貫で支援し、
再生医療の『社会実装』を加速させます。

ラボサイト事業



動物実験代替のグローバルスタンダード
を創出。独自の培養組織技術で、ESG
経営と革新的な製品開発を両立します。

- ✓ 独自の「ティッシュエンジニアリング」を基盤に、「自家」再生医療を社会へ届ける
- ✓ 患者様自身の細胞を用いた治療の普及を通じて、再生医療の産業化を見据えた確固たる仕組みづくりを推進

コア技術：ティッシュエンジニアリング



生きた細胞



マトリックス

人工的に作られた
材料・素材



生理活性物質

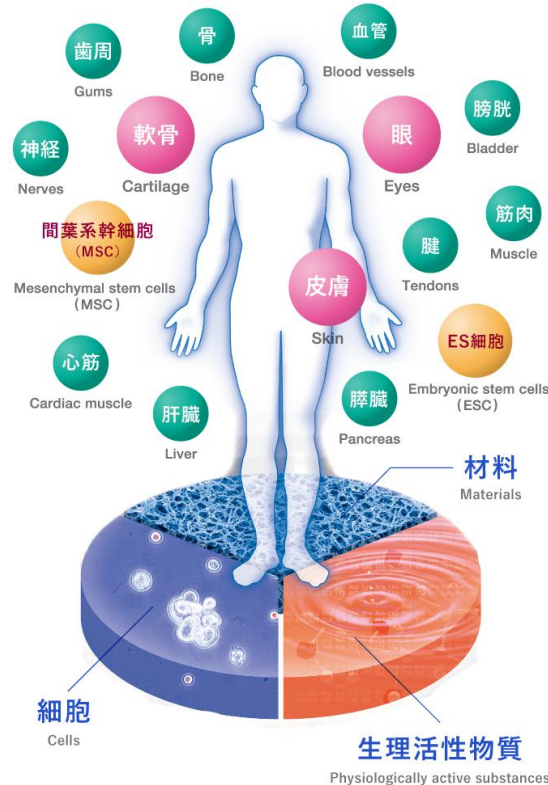
細胞や生体に影響
をもたらす物質



本来の機能を保持した
組織・臓器を創出



患者さまへ提供



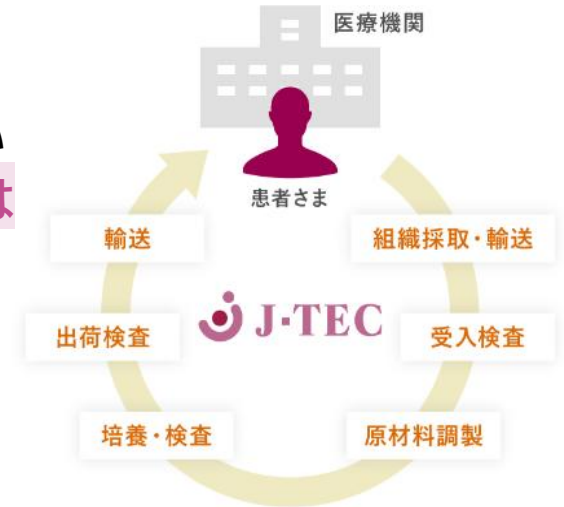
自家再生医療の実現と実績

【特徴】

- ✓ 患者さま自身の細胞を用いるため、**拒絶反応のリスクは極めて低く、安全性が高い**
- ✓ 治療までに時間がかかる

【当社の実績】

- ✓ 組織採取から培養、出荷に至る**一貫したバリューチェーンを構築**
- ✓ 日本で**5製品の承認**を取得



四半世紀にわたる5製品の上市経験を通じ、 医薬品と異なる自家細胞の独自プラットフォームを構築

会社名	株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング (J-TEC)
本社	愛知県蒲郡市
代表者	代表取締役 社長執行役員 山田 一登
設立	1999年2月1日
資本金	39億9,767万円
従業員	200人 (2026年3月末現在)
事業内容	1. 再生医療製品事業 2. 再生医療受託事業 3. ラボサイト事業
主要株主	帝人株式会社 (57.7%) 株式会社ニデック (10.4%)

- 1999 創業
- 2007 ジャスダック証券取引所NEOに上場 (現: 東証グロース)
- 2009 自家培養表皮ジェイス (重症熱傷) の保険収載
- 2013 自家培養軟骨ジャック (外傷性軟骨欠損症/ 離断性骨軟骨炎) の保険収載
- 2016 自家培養表皮ジェイス (母斑) の保険収載
- 2019 自家培養表皮ジェイス (表皮水疱症) の保険収載
- 2020 自家培養角膜上皮ネピックの保険収載
- 2021 自家培養口腔粘膜上皮オキュラルの保険収載
- 2024 メラノサイト含有自家培養表皮ジャスミンの保険収載
- 2026 自家培養軟骨ジャック (変形性膝関節症) の保険収載

社会実装フェーズへ

当社の成長基盤

日本初の再生医療プラットフォームとして
安定した収益基盤構築と飛躍的な成長を目指す



【実績】日本初の再生医療プラットフォーム

1999年創業。四半世紀にわたり国内の再生医療産業を牽引

5

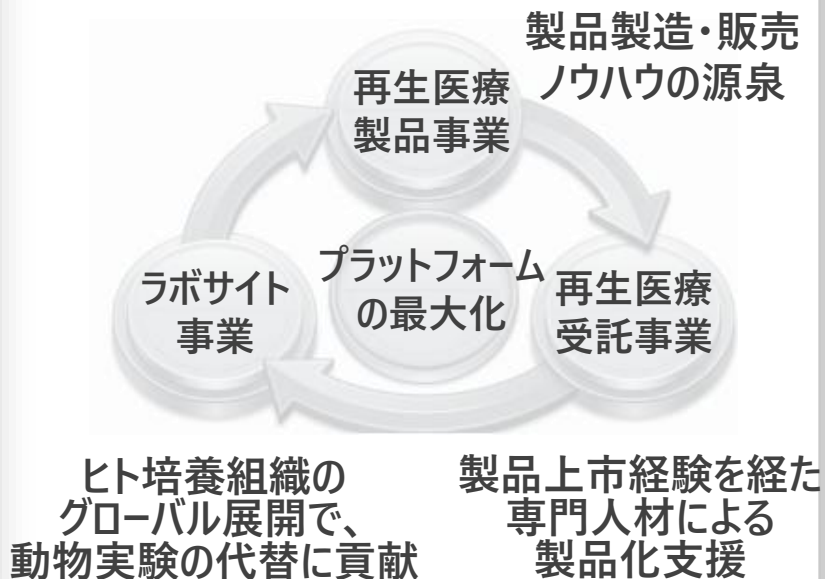
世界トップクラスの5品目承認実績

3,700+

3,700例を超える患者への製品提供実績と医師との強固なネットワーク



【基盤】3本柱による強固なビジネスモデル



【成長】売上50億円達成に向けた成長ドライバーの存在



国民病の変形性膝関節症に保険収載されたジャック (目標売上30億円)



乾燥他家 (同種) 培養表皮Allo-JaCE03の製造販売承認申請を完了

日本の再生医療等製品と当社のポジション

当社は日本初の再生医療等製品をはじめ**5製品を確実に製品化し、日本で最も多くの製品を保有**

全製品数**25**
(移植医療型製品8)

うち

J-TECは**5**製品

承認年	製品名	種別
2007	ジェイス	自家 (移植医療)
2012	ジャック	自家 (移植医療)
2015	テムセルHS注	同種
2018	ステミラック注	自家
2019	キムリア点滴静注	CAR-T
2020	ゾルゲンスマ点滴静注	遺伝子治療
2020	ネピック	自家 (移植医療)
2021	イエスカルタ点滴静注	CAR-T
2021	ブレヤンジ静注	CAR-T
2021	オキュラル	自家 (移植医療)
2021	デリタクト注	遺伝子治療
2021	アロフィセル注	同種
2022	サクラシー	自家 (移植医療)
2022	アベクマ点滴静注	CAR-T
2022	カービクティ点滴静注	CAR-T

承認年	製品名	種別
2023	ジャスミン	自家 (移植医療)
2023	ビズノバ	同種
2023	ルクスターナ注	遺伝子治療
2024	アクーゴ脳内移植用注	自家
2025	エレビジス点滴静注	遺伝子治療
2025	バイジュベックゲル	遺伝子治療
2026	リハート	同種 (移植医療)
2026	アムシェプリ	同種
2026	アロステムシート	同種 (移植医療)
2026	ゾルゲンスマ髄注	遺伝子治療



2. 事業内容とビジネスモデル

業界を牽引する長年の実績と、一貫通貫のバリューチェーン



自家再生医療プラットフォームを支える専門人材

- ✓ 医薬品とは異なる自家細胞製品プラットフォームをゼロから構築
- ✓ 細胞組織の培養・製造・販売を自社で一貫して行う専門人材
- ✓ 5品目の承認実績を通じた開発経験・規制当局との折衝経験



自社製造拠点の安定供給とコスト競争力

- ✓ 長年にわたるGCTP*に準拠した製造施設を運用（査察実績13回）
- ✓ 製品のばらつきを抑えた安定生産を熟知
- ✓ 機械化・自動化のオープン・イノベーション推進によるコスト競争力追求

*再生医療等製品の製造管理及び品質管理の基準



3,700例超のリアルワールドデータと医師ネットワーク

- ✓ 3,700例を超える提供患者からのデータ蓄積
- ✓ 使用成績調査の完遂を通じた有効性・安全性の再確認
- ✓ 医療現場・KOLとの強固で密接な連携体制

事業内容

✓ 3 事業全てを成長事業に位置付け

再生医療製品事業：再生医療の製品を開発し、公的保険下で提供する



- ✓ 患者さんご自身の細胞を培養し移植する再生医療等製品を提供
- ✓ 皮膚領域、膝領域、角膜領域で5つの製品を保有
- ✓ 国民病のOA、重症熱傷患者の救命、難病疾患などに対応

再生医療受託事業：再生医療の開発・製造を支援する



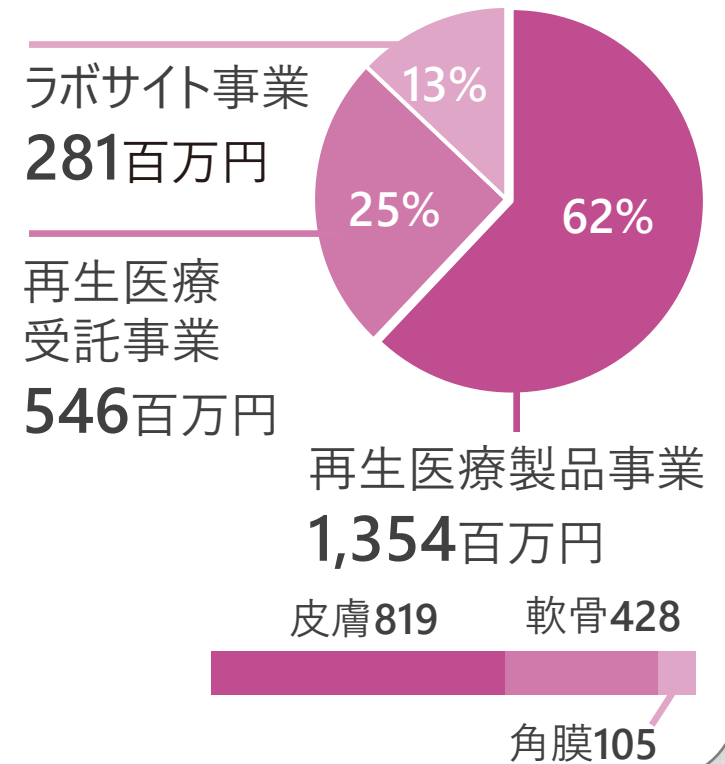
- ✓ これまでの製品開発や製造のノウハウを生かした、基礎研究から実用化までを包括的に支援する受託サービスを実施
- ✓ アカデミアや企業の製品化を支援し、産業全体の拡大・発展に寄与

ラボサイト事業：「ヒト培養組織」を研究用に提供する



- ✓ 高度な培養技術を応用し、研究用ヒト培養組織（ラボサイトシリーズ）を提供
- ✓ 外用医薬品や化粧品の開発、皮膚や角膜等を用いた基礎研究に使用
- ✓ 世界的な動物実験禁止の潮流に乗り、動物実験の代替法として普及

2026年3月期 売上高
2,182百万円



2026年3月期第1四半期決算資料より、ラボサイトのブランドを訴求した事業展開をさらに強化・発展させ、事業内容をより明確に表現するため、報告セグメント名称「研究開発支援事業」を「ラボサイト事業」に変更しています

再生医療製品事業のビジネスモデル

製品提供の流れ

- ✓ 患者さんご自身からいただいた細胞を培養して、自家の再生医療等製品を製造し、患者さんに提供
- ✓ 独自の製品提供の仕組みや医療機関との強固な連携体制により、生きた細胞製品の安定製造・供給を実現



バリューチェーン

- ✓ 再生医療特有の難しさを克服する経験豊富な人材のもと、研究開発から製造販売後までのフルバリューチェーンを網羅
- ✓ 医療現場での使用実績を、製品改良や新製品開発に還元

	還元
研究開発	基礎研究から製品化研究まで一貫で実施
臨床開発 薬事開発	再生医療等製品ならではの開発手法を当局と密に連携して確立
品質保証 安全管理	市販後も求められる細胞製品の品質・安全性を確実に担保
販売 マーケティング	治療成績を高める手術手技を医師と共に創出 自家の細胞製品を確実に提供するロジ構築

再生医療製品事業の製品ラインナップ

製品	自家培養表皮	自家培養軟骨	自家培養角膜上皮	自家培養口腔粘膜上皮	メラノサイト含有自家培養表皮
製品					
	国内第1号の再生医療等製品	日本発の技術による国内第2号の再生医療等製品	眼科領域で国内初の再生医療等製品	眼科領域で2つ目の再生医療等製品	患者さんが多い白斑治療用再生医療等製品
承認取得 保険収載	2007年10月 2009年 1月	①2012年 7月②2025年5月 ①2013年 4月②2026年1月	2020年 3月 2020年 6月	2021年 6月 2021年 12月	2023年 3月 2024年 10月
適応対象	①重症熱傷 ②先天性巨大色素性母斑 ③栄養障害型表皮水疱症/接合部型表皮水疱症	① 膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎 ② 変形性膝関節症	角膜上皮幹細胞疲弊症	角膜上皮幹細胞疲弊症	非外科的治療が無効又は適応とならない白斑
保険 償還価格	採取・培養キット 4,460千円 調製・移植キット 154千円 / 枚	採取・培養キット 1,000千円 調製・移植キット 1,890千円	採取・培養キット 4,280千円 調製・移植キット 5,470千円	採取・培養キット 4,280千円 調製・移植キット 5,470千円	採取・培養キット 4,460千円 調製・移植キット 154千円 / 枚
技術 導入元	米ハーバード大学 Howard Green 教授	広島大学 越智 光夫 教授	伊モデナ大学 G Pellegrini教授・ M De Luca教授	大阪大学 西田 幸二 教授	伊モデナ大学 G Pellegrini教授・ M De Luca教授

再生医療受託事業のビジネスモデル

✓ 「再生医療の未来を共に創るイノベーションパートナー」として、顧客のシーズの製品化を包括的に伴走支援します。

J-TECが積み上げてきた価値

開発ノウハウ

規制への対応力

上市・製造実績

人脈・信頼

フル機能の保有



×
お客様
との連携

×
臨床現場
との連携

×
TEIJIN
との協働

パートナーと製品を共に届ける仕組みづくり

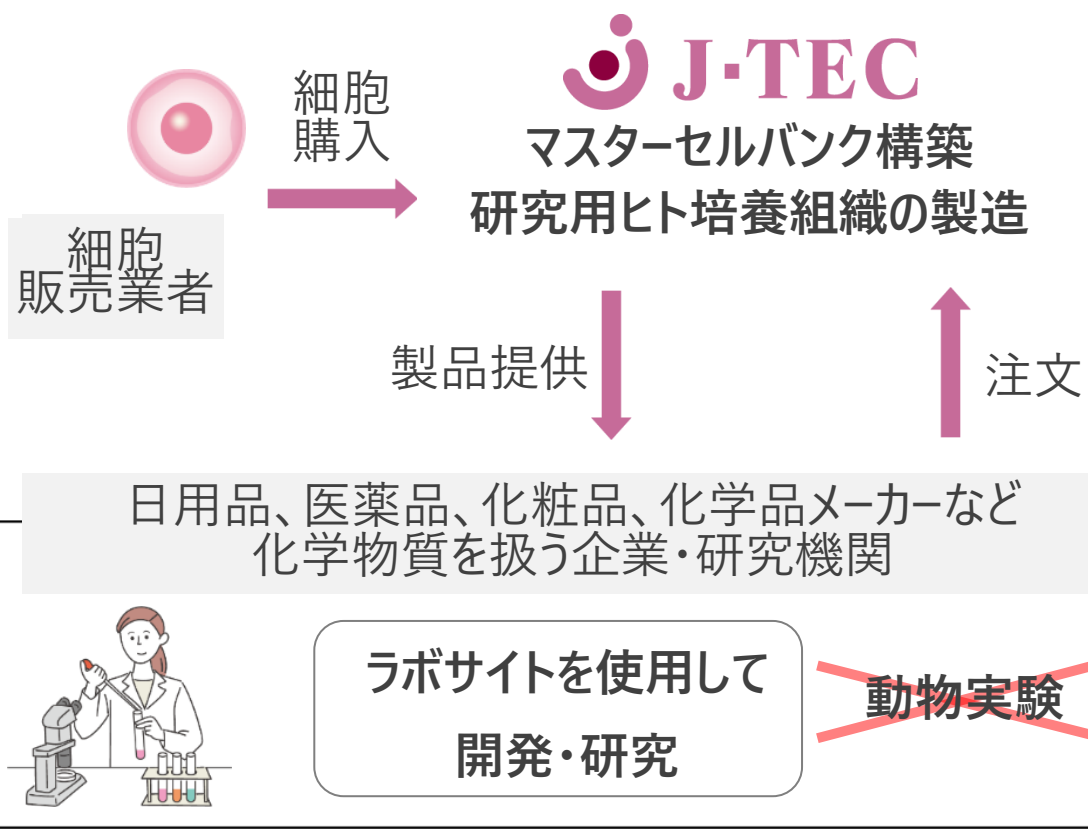
累計受託件数 **296**件

項目	件数
製品開発支援 技術移管、試験培養、非臨床試験 分析法バリデーション、SOP等文書作成等	121
薬事系支援 PMDA相談（事前面談・対面助言） 安確法対応等	30
製造・検査支援 治験製品及び細胞加工物	42
臨床開発系支援(CRO) 治験実施計画骨子、統計解析、データマネ ジメント、治験総括報告書作成等	28
設備系支援 製造施設の設計・運用に関するコンサル等	7
その他 営業支援、機器設置、細胞保管等	68

ラボサイト事業のビジネスモデル

- ✓ 再生医療等製品の開発で蓄積した高度な培養技術を応用して、研究用ヒト培養組織「ラボサイトシリーズ」を販売
- ✓ 3次元構造を有するヒト培養組織であり、**外用医薬品や化粧品の開発、皮膚や角膜等を用いた基礎研究**に使用

製品提供の流れ



	ラボサイト エピ・モデル	ラボサイト エピ・キット	ラボサイト 角膜モデル
製品	ヒト3次元培養 表皮 	ヒト表皮モデル 作製キット 	ヒト3次元培養 角膜上皮 
OECD テストガイド ライン収載	皮膚刺激性試験 (TG439) 皮膚腐食性試験 (TG431) 皮膚感作性試験 (TG442D)	—	眼刺激性試験 (TG492)
ISO (医療機器)	皮膚刺激性試験 (ISO10993- 23)	—	—
販売開始	2005年3月	2013年4月	2010年7月



3. 市場環境と競争優位性

治療ターゲットの変化

国民病をターゲットにしたジャックOA保険収載を変化点に

- ✓ 再生医療を「特別な治療」から「**身近な治療**」へ
- ✓ 国民の「健康寿命」を延ばし、「**ウェルビーイング（精神的・社会的な幸福）を高める治療**」へ
- ✓ 長期ビジョン「**再生医療をあたりまえの医療に**」の実現へ



これまでの再生医療

- 希少疾患
- 救命・緊急医療
- 新しい・特別な医療

「ジャックOA」
適応拡大がドライバー

数年でのターゲット
▶年間**1,000例**
売上規模
▶約**30億円/年**



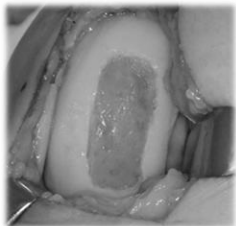
これからの再生医療

- 国民病
- 慢性・重症化前
- **身近な医療**

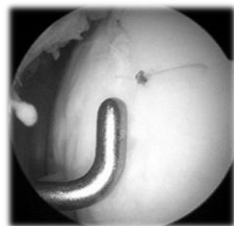
再生医療製品事業：ジャックの市場性

競合優位性

- ✓ 既存の保存療法（運動・薬物）や人工関節置換術とは異なる「**根治**」を目指す**唯一のアプローチ**
※軟骨は一度損傷すると自然に治る可能性は極めて低い
- ✓ **現時点で同様の作用機序の製品はなし**
- ✓ 既存適応の上市から**10年以上の使用成績の蓄積**
- ✓ 治験結果に基づいた**有効性・安全性**



移植前



移植6ヵ月後



移植1年後

治験結果：97.4%の修復あり

市場性

- ✓ **従来製品と異なる国民病をターゲットとして、保険適用による再生医療の認知度向上を目指す**

OA自覚症状あり

約1000万人

適用となり得る層*

約1万人

*手術件数及び当社製品の適用条件から推計

初期ターゲット

約1,000人

ジャックOAの保険適用条件

OAと診断された患者

保存療法（運動・薬物）で改善せず

軟骨欠損面積2cm²以上*

*かつ正常軟骨が一定以上残存

再生医療製品事業の市場性（ジャック以外）

✓ 白斑治療ジャスミンは、ジャックに次ぐ注力製品として、数年間で**200人/年**の達成を目指す

領域	当社製品	疾患名 年間患者数（当社推定値）	当社製品の強み	
皮膚 	ジェイス	重傷熱傷	約250人	広範囲重症熱傷の治療選択肢として救命に寄与
		先天性巨大色素性母斑	約50人	広範囲に一度で治療
		表皮水疱症	約20人	迅速かつ持続的なびらん・潰瘍の上皮化疼痛の軽減
	ジャスミン	白斑	約2,000人	既存治療（光線療法や薬など）の無効・難治例に対する新たな治療法
角膜 	ネピック・オキュラル	LSCD (角膜上皮幹細胞疲弊症)	約100人	これまで有効な治療法がなかった重症LSCDを治療

参照
 ジェイス：日本熱傷学会熱傷入院患者レジストリー 2011 10 年間の解析報告より当社推定、巨大色素性母斑・表皮水疱症の各診療手引や文献等を基に当社推定
 ジャスミン：難治性白斑・白皮症資料(H23)及び厚労省簡易生命表(H23)を基に当社推定
 ネピック・オキュラル：原因となる疾患別の文献等を基に当社推定

競合優位性



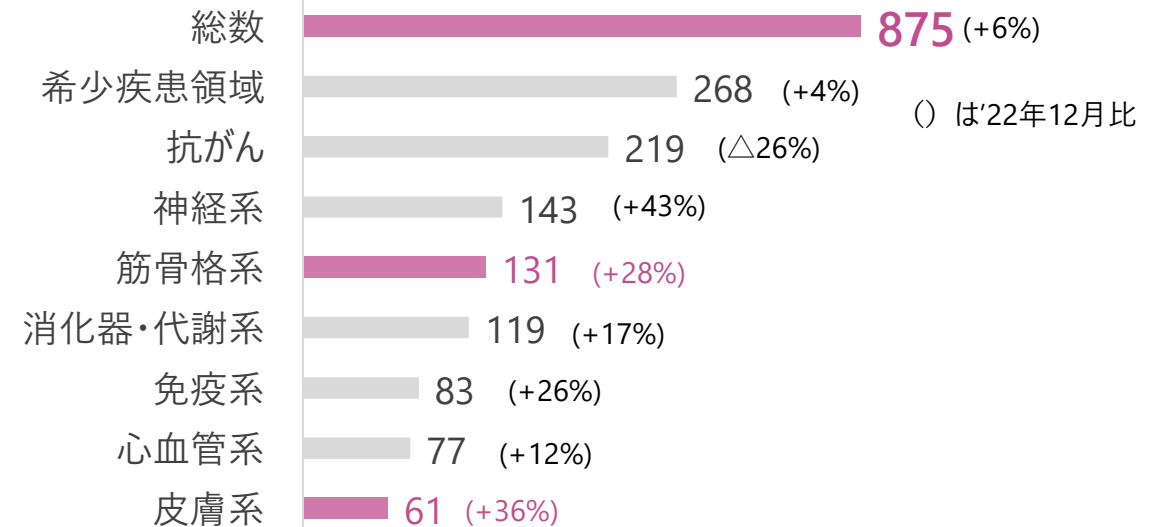
- ✓ 5つの製品の上市と3,700例超の提供実績を経験した**専門人材による、バックキャスト型支援**
- ✓ 開発から市販後対応まで**全ての機能を保有し、包括支援の実現**
- ✓ 臨床現場とのネットワークと、**臨床の声を開発に還元する能力**（リバーストランスレーショナルリサーチ）
- ✓ **GCTP準拠**の生産設備
- ✓ 安定供給を支える**培養機器・検査機器**



市場性

- ✓ グローバルのシーズ数は増加傾向にあり、**当社の強みとする領域（筋骨格系や皮膚系）のシーズも多い**
- ✓ 海外シーズの日本への誘致を進め、売上増加を図る

グローバル非遺伝子改変細胞治療のパイプライン数（25年12月）



出展：American Society of Gene & Cell Therapy) / Citeline "Gene, Cell, & RNA Therapy Landscape

競合優位性

- ✓ 当社は、**皮膚感作性試験の国際ガイドライン化と価格優位性**に加え、日本での**トップシェアを基盤に培った品質**を強みに海外展開を図る

		J-TEC 日本	MatTek アメリカ	EPISKIN フランス
国際 ガイド ライン	皮膚感作性試験 OECD TG442D ISO 10993-10	○ (エピセンサ)	-	-
	皮膚刺激性試験 OECD TG439 ISO10993-02	○	○	○
	皮膚腐食性試験 OECD TG431	○	○	○
価格		優位		

皮膚系試験の市場予測

- ✓ **動物実験の規制強化から、グローバルでの成長が期待**

EU

市場規模 160億円

CAGR 3.8%

化粧品開発の**動物実験禁止**

米国

市場規模 174億円

CAGR 7.1%

12州で動物実験を行った
化粧品販売禁止

インド

市場規模 47億円

CAGR 12.5%

化粧品開発の**動物実験禁止**

市場規模
CAGR
出典

皮膚刺激・腐食・感作性試験の市場予測(2025年)
2020-2025年の伸長率
MARKETSANDMARKETS「IN VITRO TOXICITY TESTING
MARKET GLOBAL FORECAST TO 2025」



4. 成長戦略

成長に向けた展望

自家細胞プラットフォームの社会実装から、日本発の再生医療モデルで世界への飛躍を目指す。

売上50億円

2027



ジャックOA承認

Step1

医薬品と異なる自家細胞の 独自プラットフォーム構築

- 自家細胞製品を安定供給するプロセス
- 5製品の上市を通じた移植医療型製品の作りこみノウハウ
- 専門人材の育成
- 医療現場・規制当局との連携体制
- 使用成績調査の完遂を通じた有効性・安全性の再確認

Step2

独自プラットフォームの 社会実装

- ジャックOA 多くの患者に自家細胞製品を届ける仕組み
- Allo-JaCE03 同種細胞への応用
- プラットフォーム活用最大化
- オープンイノベーションの推進
- AI活用等による自動化の推進

Step3

海外展開／新たな製品 による飛躍的成長

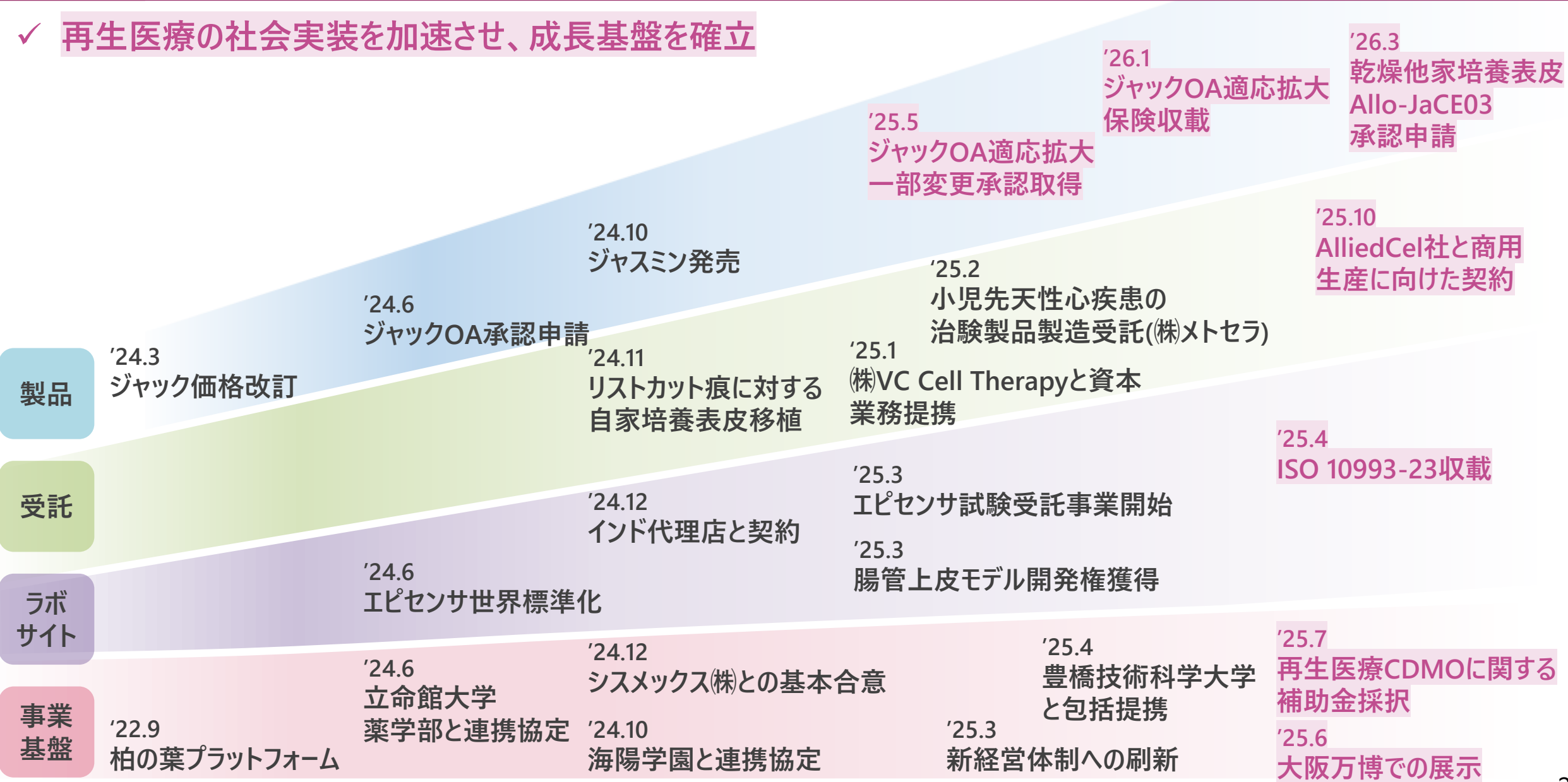
- 日本発再生医療モデルの海外訴求によるインバウンド・アウトバウンドの仕組み作り
- プラットフォームを活用を通じた新パイプラインの獲得

設立

1999

これまでの成長に向けた取り組み

✓ 再生医療の社会実装を加速させ、成長基盤を確立



再生医療製品事業



収益ドライバーであるジャック・ジャスミン
販売拡大へのリソース集中

提供患者総数

約**3,700**例

昨年度比約 **+280** 例

ジャックの販売進捗

過去最高の

30例/月ペースで進捗

再生医療受託事業



長期的に関係構築する国内外顧客
獲得と新しい技術領域への展開

累計受託件数

296件

昨年度比 **+32** 件

製造・検査関連契約数

42件

ラボサイト事業



動物実験代替のグローバル潮流を捉えた
海外展開と新規業界への進出

累計購入顧客数

163社

昨年度比 **+2** 件

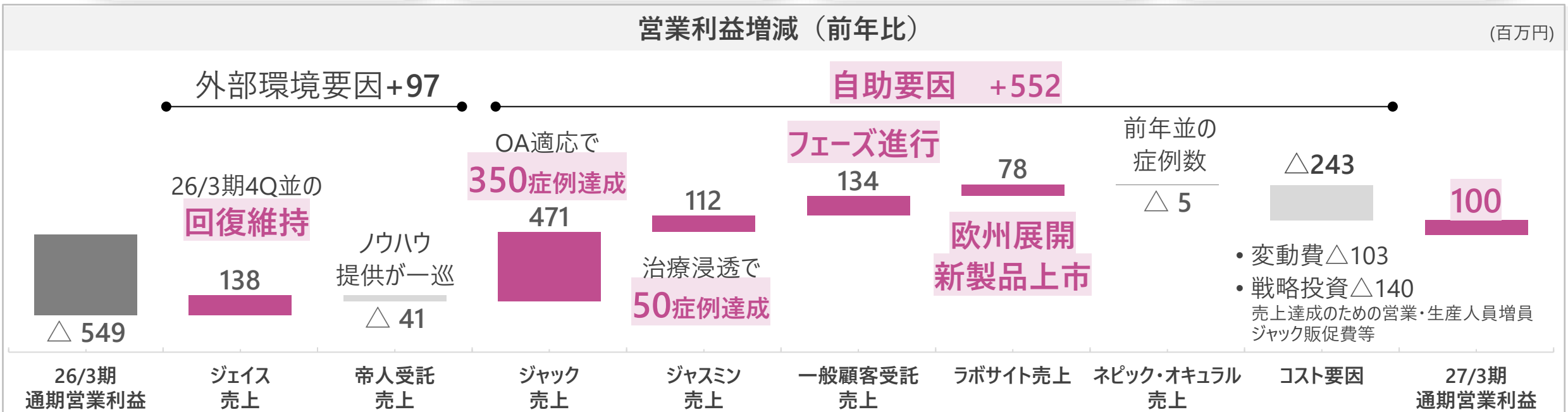
(安定的な定期顧客にシフト)

欧州定期顧客数

8社

黒字化を牽引する4つのエンジン

<p>ジャックOAの本格拡大 (最大の柱)</p> <p>足元で月間30例超のペースが定着 年間目標350例へ</p>	<p>白斑治療 (ジャスミン) の市場開拓</p> <p>複数拠点での集患 ルート構築と 治療啓発の推進</p>	<p>受託事業のフェーズ進行</p> <p>既存案件のフェーズ 進行と 新規顧客獲得</p>	<p>ラボサイト事業の新市場開拓</p> <p>欧州市場での 大手顧客獲得と 腸管モデルの上市</p>
------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------



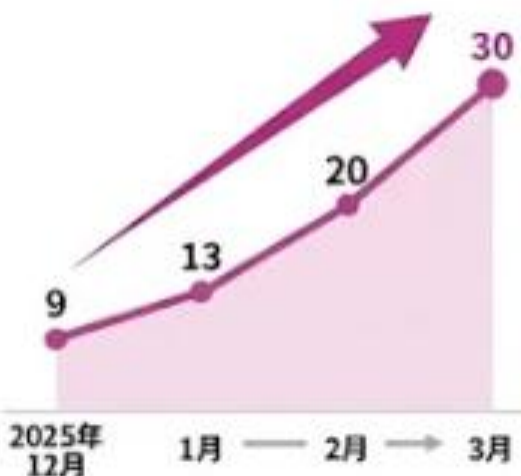
能動的な「領域別専門部制」へ進化

- 「運動器（整形）領域」と「上皮領域」の領域別専門部隊へ組織再編
- 新規医師への手技周知や、クリニックと連携した集患ルート構築を推進
- 潜在市場を自ら掘り起こし、『再生医療の標準化』による連続成長を牽引

ジャックの売上倍増

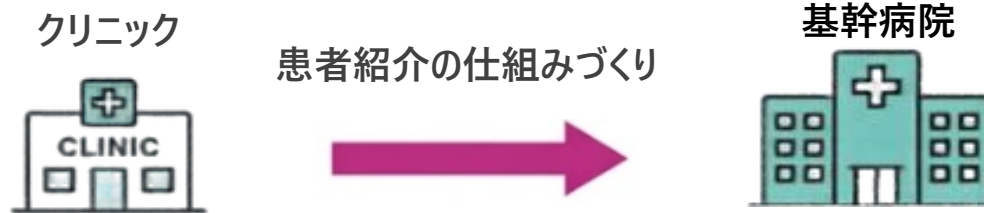


ジャック症例実績



- 26年度受注数は既に93例
年間見通しの27%に到達
- 全国125施設の契約完了
- ターゲット選定に基づき、
営業リソースを集中投下
- 説明会等の徹底で、ジャック
使用のリポート率向上

ジャスミンの市場開拓



- 治療体制が整った全国42施設と強固に連携して
患者アクセス向上の取り組み推進
- トップ施設の治療実績（ノウハウ）の横展開
- 新たな情報チャネルを活用した患者啓発強化

特定顧客に依存しない強固なポートフォリオ

- 顧客基盤の多角化と、開発パイプラインの着実な進展
メトセラ、アクチュアライズ、VC Cell Therapy、AlliedCel等、複数社が進捗
- 高付加価値フェーズへ移行
治験製品製造→商用生産準備等へ進展。収益の安定化に貢献



「イノベーションパートナー」としての独自価値

- 一貫通貫の支援モデル
研究開発段階の設計から商用製造までを
一貫通貫で支援する、高付加価値モデルの実現



- 次世代技術の蓄積
iPS細胞など次世代技術に幅広く対応



帝人とのシナジー創出

- 連携体制の強化
ノウハウ供与から顧客獲得連携体制へ
- シーズ誘致の加速
柏の葉再生医療プラットフォーム
での共同でのシーズ誘致の強化



国立がん研究センター東病院、三井不動産(株)と連携して
革新的治療を研究から生産までワンストップで支援する拠点を構築

欧州展開の加速と製造拠点の設立

- 現地安定供給体制の確立
輸送期間の短縮・安定供給に向け
ドイツ子会社設立準備が最終段階
2027/3月期上期中の設立完了に向け
確実なマイルストーンを設定済

- グローバルシェアの獲得
皮膚感作性試験法『エピセンサ』
の標準化を機に、
欧州現地拠点を最大限に活用
大手顧客への円滑な導入を現地でサポートすることで、欧州市場におけるシェアの拡大を図る



新規業界への進出

- 新領域（創薬・食品）への参入
新製品「腸管モデル」の上市により、化粧品分野に加えて「創薬・食品メーカー」を開拓
適正な品質評価体制の構築を優先し、上市時期を2027/3月期下期中に再設定
- 新規業界（医療機器・素材）の開拓
医療機器展示会への参加等を通じ、「医療機器・素材メーカー」へのアプローチを本格化
- ソリューション提案への進化
単なる試験キットの販売から脱却し、「他社デバイスとの組み合わせ」など、高付加価値モデルへ



創薬



食品



医療機器・素材

現状進行中の2製品に加え、産学連携により新規パイプライン探索活動を強化中

領域	開発品名	適応症	上市目標	基礎研究	前臨床試験	治験	製造販売承認	保険収載
皮膚	Allo-JaCE03	熱傷を含む皮膚欠損	2028年3月期	安定製造プロセス構築の実施 期間延長により、1年遅れ			2026年3月承認申請	
がん	JPCAR019	急性リンパ性白血病	検討中	第I/II相医師主導治験実施中 2027/3月期で完了見通し				

医療機器

乾燥他家（同種）培養表皮 Allo-JaCE03

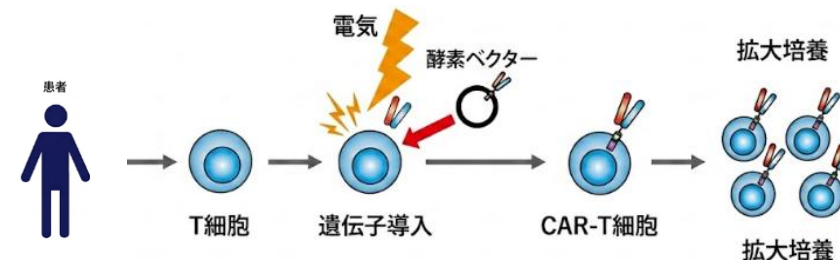


他人の細胞を原材料
大量生産・ストック可能



- 乾燥他家培養表皮として**世界初**
- 独自の乾燥技術により『**常温での長期保管**』と『**即時使用**』を両立
- 緊急時にその場ですぐ使え、患者さんと医療従事者の負担軽減
- 治験で**有効性、安全性を確認**

自家CAR-T細胞 JPCAR019

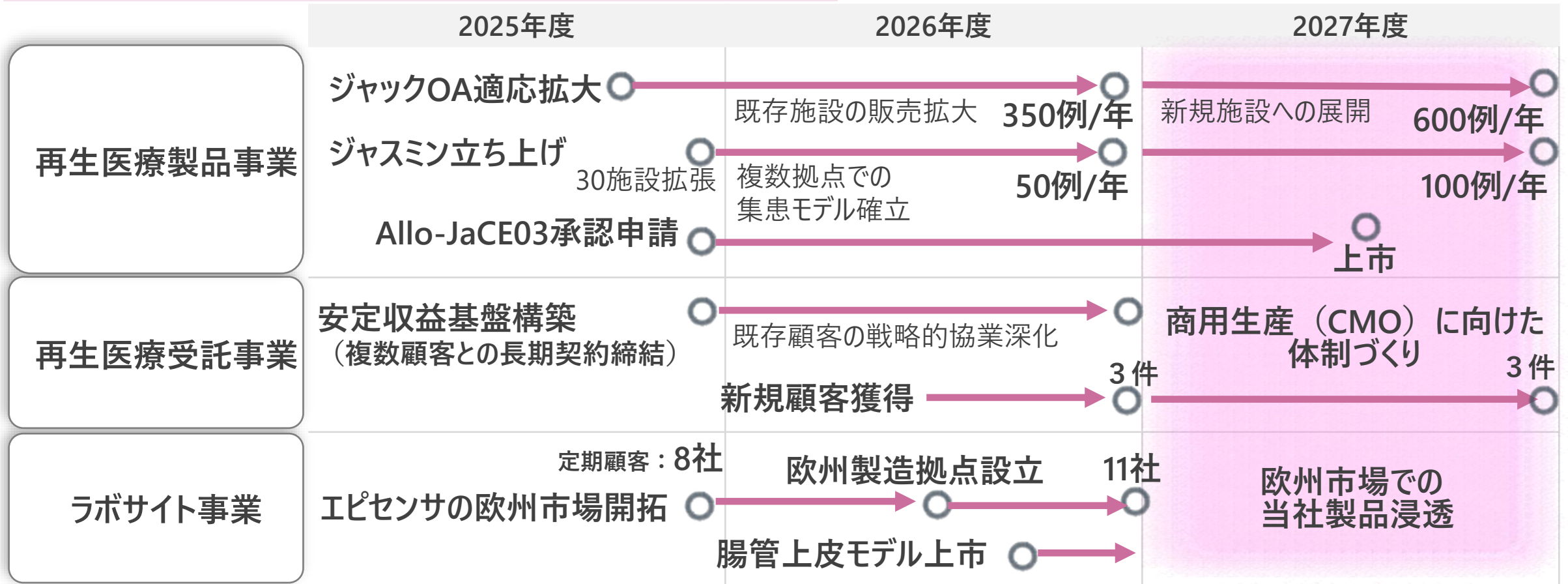


- 非ウイルス性（酵素法）ベクターの採用により、**製造コストを低減**
- 上市の実現により、既存の治療で適応外の患者に対する治療の選択肢が広がる可能性
- **がん以外の他疾患への事業拡大を検討開始**

成長の実現に向けたロードマップ

2027年度目標は変更なし。
達成に向け、各事業の明確なマイルストーンを設定

売上高 50億円
営業利益 5億円



目標達成のための主要条件

- 上記施策により、売上 再生医療等製品事業35億円、再生医療受託事業10億円、ラボサイト事業5億円を達成
- 利益率10%の費用コントロール

✓ 当社の基盤を支える、専門人材の育成と働きやすい職場環境づくりに努める



活動実績

①



従業員の処遇
職場環境改善

- ✓ ベースアップの実施
- ✓ 手当の拡充

②



ジョブローテーション・
研修の拡充による
育成機会創出

- ✓ 約20名のローテーション
- ✓ 定期的な研修実施

③



専門性を評価する
企業風土醸成

- ✓ マイスター制度を継続
(生産部門の技術認定の資格制度)

④



女性が働きやすい
環境づくり

- ✓ 女性管理職 34%
- ✓ 育児短時間勤務 18名

⑤

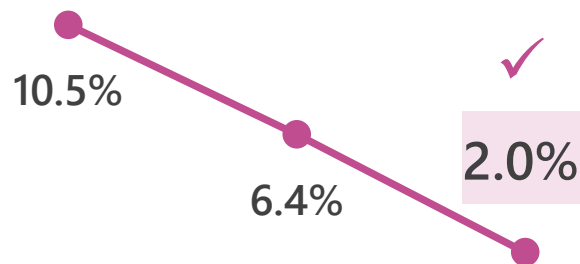


社外への活動内容
発信による士気向上

- ✓ 公式Xフォロワー
1,000人を獲得

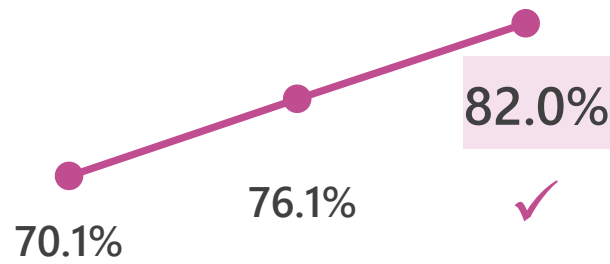
KPI

正社員離職率



24/3月期 25/3月期 26/3月期

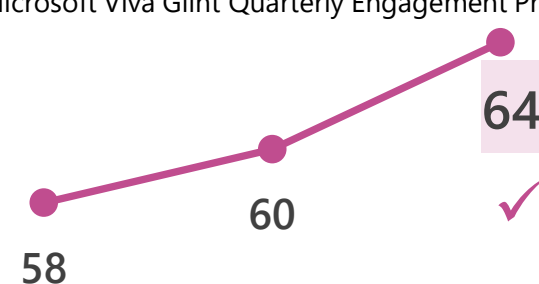
有給休暇取得率



24/3月期 25/3月期 26/3月期

エンゲージメントスコア

(Microsoft Viva Glint Quarterly Engagement Program)



24/3月期 25/3月期 26/3月期



- ✓ 本社を置く愛知県蒲郡市との強固な関係を活かし、**再生医療の普及を軸とした地域活性化と産業振興**に貢献
- ✓ 大阪万博を通じた再生医療の普及や、産学連携による教育活動など、**幅広いサステナビリティ活動を展開**

■ 蒲郡市と連携した普及活動

2015年から蒲郡市と「再生医療産業化推進委員会」を立ち上げ
市民講座や小学生向けワークショップを定期的で開催



■ 産学連携による出張講義活動



■ 大阪万博における再生医療展示・体験イベント

約7,000人が来訪



次なる飛躍に向けた施策

✓ 次なる飛躍に向けて、再生医療プラットフォームをより強固にする施策を推進

プラットフォームの更なる強化

- ✓ ジャックOA・ジャスミンの治療浸透
- ✓ 医師・医療機関との強固なネットワークの拡張

新たな出口戦略

- ✓ ラボサイト／Allo-JaCE03等の海外展開加速
- ✓ メディカルインバウンドへの対応

新規技術の実現

- ✓ iPS細胞製品・遺伝子治療製品等の新規技術獲得
- ✓ 海外を含めたシーズ獲得活動の強化

協業・生産機能の高度化

- ✓ シスメックス社との協業による製造・品質管理の自動化
- ✓ GCTP準拠施設の拡張投資



J-TEC 再生医療
プラットフォーム
開発ノウハウ
×
上市実績
×
規制対応力

市場リスクと対応策

市場環境の変動

可能性： **中** 影響： **大**

- ✓ 市場規模・競合状況による売上減少
- ✓ 委託元の方針変更に伴う契約見直し

- ✓ 動向の早期把握と機能的対応
- ✓ 医療機関・委託元との緊密な連携

製品の安定供給・調達

可能性： **中** 影響： **大**

- ✓ 代替困難な原材料の調達難・製造停止

- ✓ サプライヤーとの長期・安定契約締結
- ✓ 代替品選定と新規技術・製法開発

法規制の変化

可能性： **中** 影響： **中**

- ✓ 予期せぬ法改正や医療行政の変化

- ✓ 薬事承認ノウハウの蓄積
- ✓ 規制当局と緊密な連携

専門人材の流出

可能性： **高** 影響： **中**

- ✓ 競合増加と多様な働き方の普及に伴う離職

- ✓ 多様な働き方に対応する人事整備
- ✓ ブランド向上・報酬体系見直しによる定着率向上

大規模災害

可能性： **小** 影響： **大**

- ✓ 拠点集中による機能停止・医療逼迫による手術遅延

- ✓ BCP策定とインフラ・運用体制整備
- ✓ 医療機関との緊密な連携／機動的な営業活動

情報漏洩

可能性： **中** 影響： **中**

- ✓ サイバー攻撃による漏洩・システム停止
- ✓ 社員の過失による機密情報流出

- ✓ ネットワークセキュリティの継続的な強化
- ✓ 社員教育の徹底

本資料の取り扱いについて

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

本資料「事業計画及び成長可能性に関する事項」の次回開示は、2027年5月頃を予定しております。

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

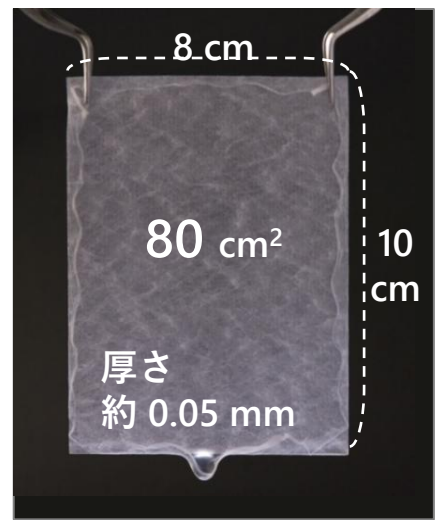
〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp 37

参考資料

自家培養表皮ジェイス

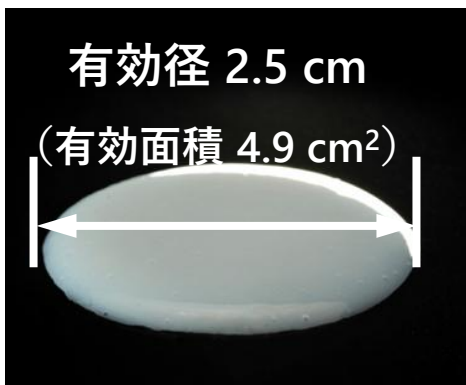


<p>適応対象</p>	<p>① 重症熱傷 受傷面積として深達性Ⅱ度及びⅢ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象</p> <p>② 先天性巨大色素性母斑 母斑面積が体表面積の5%以上の治療等、既存の標準的な治療では母斑の切除に対応しきれない場合に適用</p> <p>③ 栄養障害型表皮水疱症・接合部型表皮水疱症 4週間程度持続しているびらん・潰瘍及び潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・潰瘍に対して適用</p>
<p>保険償還 価格</p>	<p>・採取・培養キット 4,460千円 ・調製・移植キット 154千円/枚 ※高額療養費制度対象</p> <p>算定限度：（熱傷）40枚 ※医学的に必要がある場合は50枚 （母斑）30枚（表皮水疱症）50枚</p>
<p>技術導入元</p>	<p>米ハーバード大学 Howard Green 教授</p>
<p>主な施設基準</p>	<p>重症熱傷は施設基準の届出を行っている医療機関、先天性巨大色素性母斑および表皮水疱症はなし</p>
<p>治療 タイムライン</p>	<p>製造・培養期間 組織採取から納入まで約3週間 製品有効期間 56時間 生着期間 1週間で生着、約1ヶ月で表皮が安定</p>
<p>製造プロセス</p>	

メラノサイト（色素細胞）含有自家培養表皮ジャスミン



<p>適応対象</p>	<p>① 白斑* *尋常性白斑、vogt-小柳-原田病若しくは化学物質による完全脱色素斑、又はまだら症などの先天性異常による完全脱色素斑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非外科的治療（外用療法や光線療法）が無効又は適応とならない12歳以上の白斑患者 ・12ヶ月程度症状が固定
<p>保険償還価格</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組織運搬セット 4,460千円 ・培養表皮パッケージ 154千円/枚 <p>※高額療養費制度対象であり、平均所得者の自己負担は22万円程度（所得により変動）</p>
<p>技術導入元</p>	<p>伊モデナ大学 G Pellegrini教授・M De Luca教授</p>
<p>主な施設基準</p>	<p>皮膚移植術を3例以上実施した経験を有する常勤の医師、又は経験を有する医師の指導下での手術を実施する常勤の医師</p>
<p>治療タイムライン</p>	<p>製造・培養期間 組織採取から納入まで約5週間 製品有効期間 60時間 生着期間 1週間で生着、約1ヶ月で表皮が安定</p>
<p>製造プロセス</p>	



適応対象

- ① **外傷性軟骨欠損症・離断性骨軟骨炎**
他に治療法がなく、かつ軟骨欠損面積が4cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る
- ② **変形性膝関節症**
運動療法等の保存療法により臨床症状が改善せず、かつ軟骨欠損面積が2cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る

保険償還
価格

・採取・培養キット 1,000千円
・調製・移植キット 1,890千円
使用した個数に係らない

※高額療養費制度対象であり、
平均所得者の自己負担は25万円程度（所得により変動）

技術導入元

広島大学 越智 光夫 教授

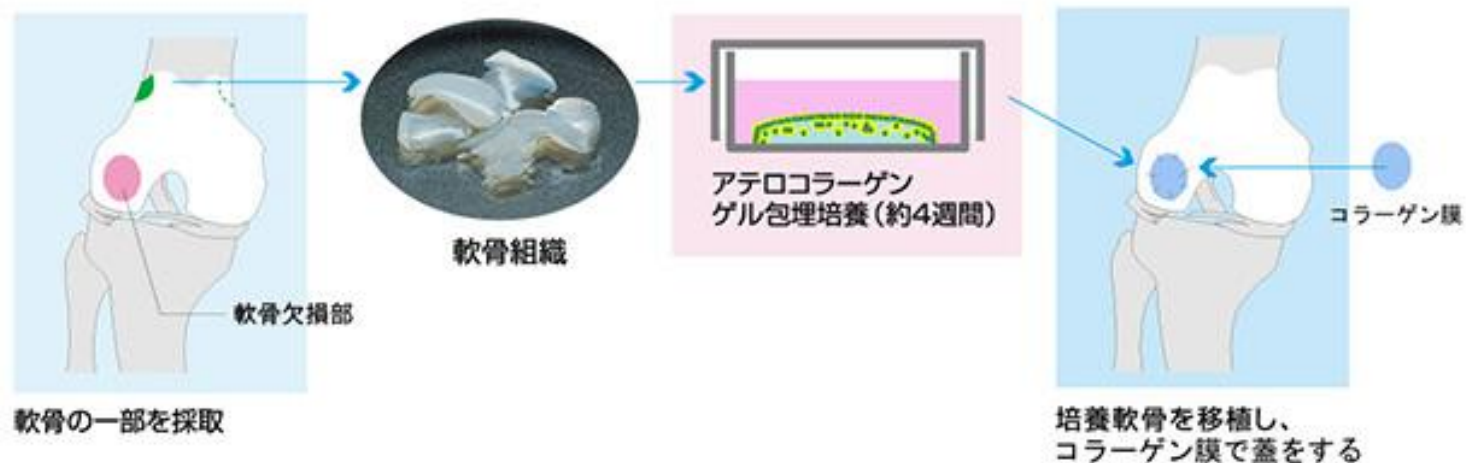
主な施設基準

大学病院等の教育・研究施設、または膝関節手術を年間100例以上行っている施設

治療
タイムライン

製造・培養期間 軟骨組織の採取から納入まで約4週間
製品有効期間 80時間
生着期間 安定するまで術後約4週間は松葉杖や装具を使用

製造プロセス



自家培養角膜上皮ネピック／自家培養口腔粘膜上皮オキュラル



販売：株式会社ニデック

適応対象	角膜上皮幹細胞疲弊症（LSCD）*		
保険償還価格	<ul style="list-style-type: none"> ・組織運搬セット 4,280千円 ・（ネピック）培養角膜上皮パッケージ 5,470千円 （オキュラル）培養口腔粘膜上皮パッケージ 	※高額療養費制度対象	
技術導入元	ネピック 伊モデナ大学 G. Pellegrini教授・M. De Luca教授 オキュラル 大阪大学 西田 幸二 教授		
主な施設基準	角膜移植の術者経験を有する常勤医師が配置されている施設であること。		
治療タイムライン	製造・培養期間 製品有効期間 生着期間	組織採取から納入まで約4週間 60時間 12週間程度で生着、6-12か月で眼表面が安定	
製造プロセス	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>患者さん</p>  <p>角膜の輪部組織の採取</p>  <p>口腔粘膜組織の採取</p> </div> <div style="flex-grow: 1;"> <p style="text-align: center;">← 移植</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>酵素処理</p>  <p>分離した 角膜上皮細胞</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>細胞を増やすため フィーダー細胞に播種</p>  <p>培養</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>シート化</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>シート剥離</p> </div> </div> </div> </div>		

*ネピックの適応対象は、スティーヴンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、移植片対宿主病、無虹彩症等の先天的に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患、再発翼状片、特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症の患者は除く